

どっちが正しいかな？

①と②の使い方はどちらが正しいですか？

Q1 「うなむれ」

- ① 一年の始まりは、目標を決めるにはしおどきだね。
- ② あの会社もつぶれそうだなあ。そろそろしおどきだね。

Q2 「おもむろに」

- ① 隣の人におもむろに話しかけられて、驚いた。
- ② 気づかれないように、おもむろに手を伸ばした。

Q3 「情けは人のためならず」

- ① 彼には余計なことをしないほうがよいなあ。情けは人のためならずだよ。
- ② 彼には充分なことをしてあげなさい。情けは人のためならずだよ。

Q4 「破天荒」

- ① 彼は自転車で世界を一周するという破天荒な挑戦をした。
- ② 彼の破天荒なふるまいに、周囲は時々あきれてしまう。

Q5 「煮詰まる」

- ① 十日間の話し合いで議論が煮詰まってきたな。そろそろ結論を出そう。
- ② 十日間の話し合いで議論が煮詰まってしまった。結論が出せないなあ。

全部わかりましたか？ 大人の人でも間違っ**て**使っている人がいるかもしれませんね。このほかにも間違**い**やすい言葉として「なしくずし」「失笑する」「姑息な手段」などがあります。おうちの人と一緒に、調べてみましょう。

(正解)

Q1 答え①

「しおどき」とは、物事を行うのにちょうどよい時という意味です。②のように使われやすいのは「やめどき」という言葉と似ているかもしれませんが、もともとは、漁師が海の潮の状態を見て、一番良い時期に出港することから生まれた言葉のようです。

Q2 答え②

「おもむろに」はゆっくりとした動きのことを指します。漢字では「徐に」と書きます。「急に」とか「突然」のようなイメージを持つ人が多いようですが、それは間違いです。

Q3 答え②

このことわざも間違った意味で使う人が多いようです。「情け」とは「親切」と近い意味です。他人に対して行う親切は、めぐりめぐって必ず自分も親切にしてもらえるとという意味が本当の意味です。親切はその人のためにならないという意味で間違える人が多いようです。

Q4 答え①

中国の唐の時代、荒れ果てた地方の村で若者がはじめて科挙（とても難しい役人の試験）に合格したのです。そのとき人々が天荒（荒れ地）を破った。と口々に彼をたたえた、というお話から生まれた言葉です。つまり、今まで人ができなかったことが初めてすること。という意味が正しい意味です。

Q5 答え①

「行き詰まる」という言葉と同じように思ってしまう人が多いようです。それは間違いです。本当の意味は、「結論が見えてきた。」という意味です。

※おまけの問題

「元旦の午後、近くの神社に行きましよう。」この文は正しいかな？

・・・実は、間違いです。「元旦」は「元日（二月一日）」の朝のことを指します。「元日の午後」なら正しいですね。